

# ワークショップ趣旨

## 1 背景

「臨床力」とは漠然としたイメージはあるものの、個々によってその解釈は異なる。教育プログラムを検討するにあたり、まず我々が目指すべき「臨床力の高いリハビリテーション専門職」を明確化することが必要である。今回の本ワークショップのテーマとして、「**臨床力の高いリハビリテーション専門職とは**」を掲げた。

## 2 方法

Google class ルームを 3 部屋活用し、集合用、各グループ(若手、ベテラン)用に設定し、Google スライドを利用してプロダクトの作成を行った。それぞれの class ルームでディスカッションを行い、集合用で発表を行った。有意義なディスカッションが行われ、オンラインによるメリットもあり、タイムスケジュール通りにプロダクトを生成することができた。

# プロダクト報告(若手グループ)

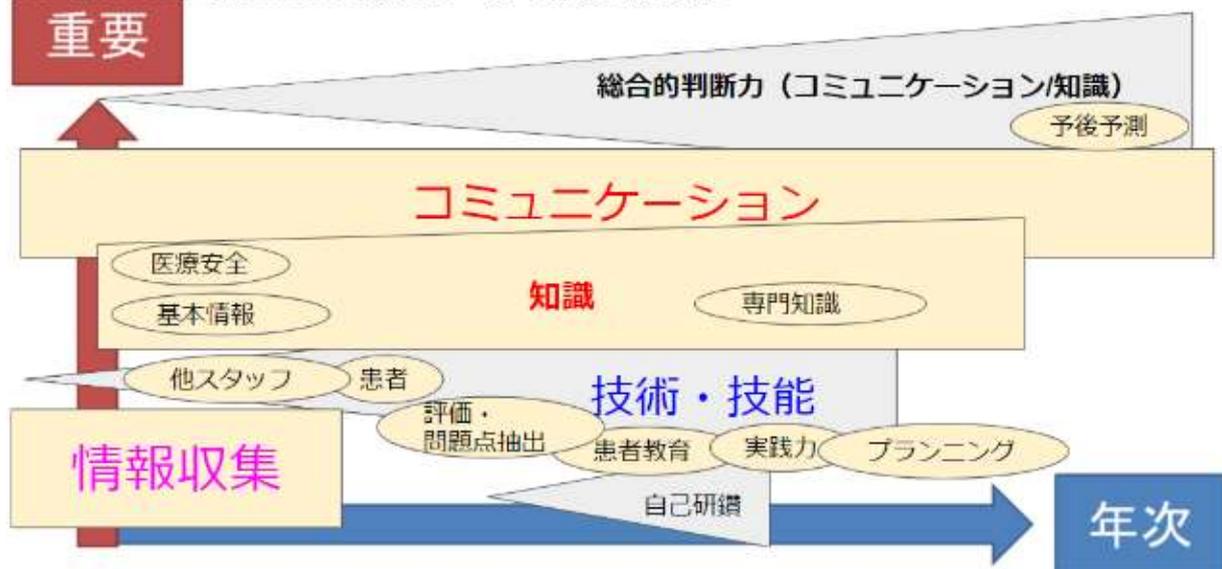
## 1 KJ 法によるテーマのイメージを可能な限り多く挙げる

- ・特に、知識・技術・コミュニケーションについて多く、取り上げられた。

## 2 抽出されたものを、カテゴリー化し、重要度を決定する

- ・抽出されたものを絞り込み、二次元展開を行った。

11:15-12:00 SGD2 (挙げたものをカテゴリー化、重要度を決定する)



### 3 「臨床力の高いリハビリテーション専門職とは」を明文化する

- ・**カテゴリと重要度を参考に、患者本位であることが最も重要と考え、コミュニケーションと知識・技術について明文化した。**

#### 臨床力の高いリハビリテーション専門職とは

患者・家族と信頼関係を築き、ニーズをくみ取ったうえで、多職種と連携しながら目標を一致させ、知識・技術の中から最良なものを総合的に判断し短期間でリハビリテーションの効果を発揮することができる

- ・信頼関係を築くためには密にコミュニケーションをとる必要がある
- ・患者・家族・医療者に的確な言葉での説明ができる
- ・ニーズをくみ取るためには、患者さんのバックグラウンドを理解する
- ・双方が納得したうえで目標設定をする
- ・カンファレンスをこまめに行い方針をチームで共有し統一する
- ・臨床の中で常に疑問を持ち、最新の知識・技術を学ぶことができる

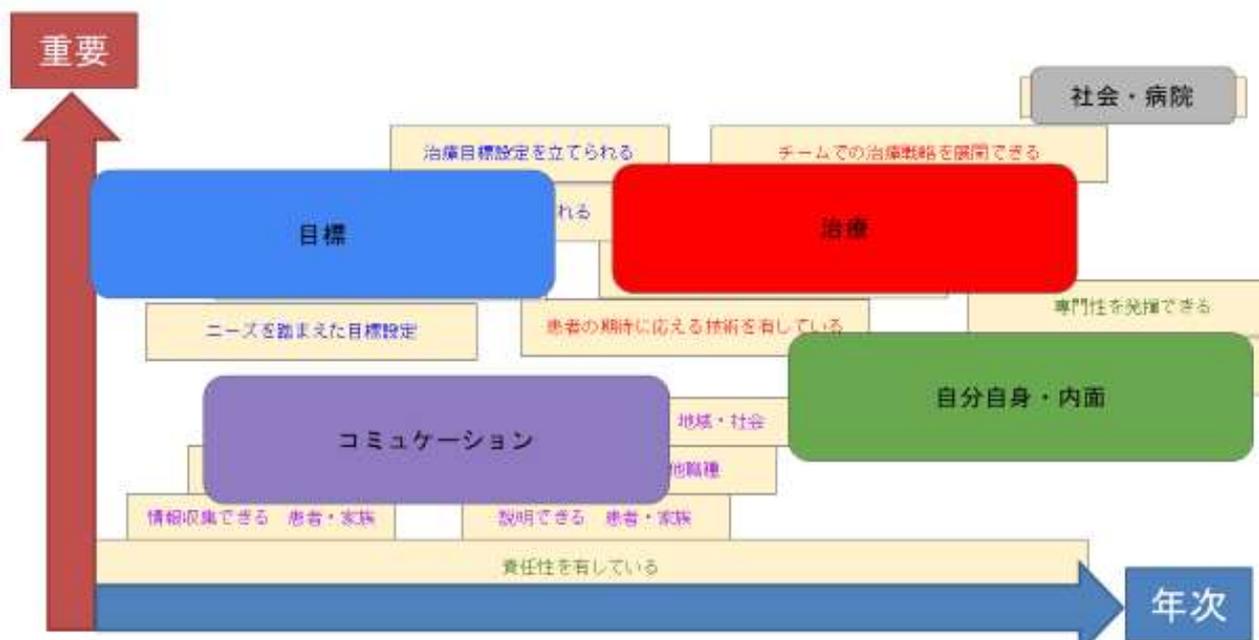
# プロダクト報告(ベテラングループ)

## 1 KJ 法によるテーマのイメージを可能な限り多く挙げる

・特に、对患者に関して、コミュニケーションについて多く、取り上げられた。

## 2 抽出されたものを、カテゴリー化し、重要度を決定する

・今回は、カテゴリーをコミュニケーション、目標、治療、自分自身・内面、社会・病院に絞り込み、二次元展開を行った。



### 3「臨床力の高いリハビリテーション専門職とは」を明文化する

- ・カテゴリーと重要度を参考に、コミュニケーション、治療戦略、自己の内面と社会貢献に焦点を当てて明文化した。

臨床力の高いリハビリテーション専門職とは

周囲と効果的なコミュニケーションをとり、チームの可能性を広げて、エビデンスに基づいた多様な治療戦略を基に的確に問題が解決できる。

世の中の動向や社会のニーズを捉え新しい可能性を追求し、専門性を発揮することを通して社会に貢献できる。

#### <注釈>

周囲とは：患者、家族、他職種、地域を指す

効果的なコミュニケーションとは：相手の立場に立つ、相互理解を図る、信頼関係を築く、時間効率を指す

チームとは：患者・家族を含めた多職種協働チームを指す

社会貢献とは：専門的資格の取得・専門的治療の提供および発信を指す